TOSHIBA

東芝パッケージエアコン
（天井カセット形２方向吹出しタイプ）

気化式加湿器　据付説明書

形名　TCB-HS284UW

このたびは東芝パッケージエアコン用「気化式加湿器」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。取付工事に際しては、この説明書をよく読み、正しい工事を行うようお願いします。

安全上のご注意

“安全上のご注意”については、天井カセット形２方向吹出しタイプ（室内ユニット）の据付説明書、取扱説明書もご覧になり、お守りください。

●取付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
⚠ 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害※1を負う可能性、または物的損害※2のみが 発生する可能性があること」を示します。

※１：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※２：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

⚠ 警告

工事の部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する
付属部品および指定部品を使用しない場合には、水漏れや感電、火災等の原因になります。

清掃または点検をする際には、必ず機器の運転を停止させ、電源を切る
機器停止と電源を切らないで作業をすると、ケガや感電、火災等の原因になります。

消防法、水道法等に規制される取扱については、専門業者に依頼する

⚠ 注意

ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するように配管し、結露が生じないように断熱または保温する
配管工事に不備がある場合には、屋内に水漏れし、家財等を漏らす原因になります。

給水配管は、据付説明書に従って確実に配管し、結露が生じないように断熱または保温する
配管工事に不備がある場合には、屋内に水漏れし、家財等を濡らす原因になります。

取付上のご注意

●加湿器の取付工事は、必ずエアコン本体を据え付ける前に行ってください。加湿器組み込み後の輸送はしないでください。
●ヒューミディスタット〔23Hu〕（現地手配）は、湿度低下で接点が閉となる形式で接点容量 200VA 以上の物を準備してください。
●加湿器取付側の天井面に□ 450 以上の点検口を必ず設置してください。
●供給水質は、上水道または同等以上。
●給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン〔型式認可品〕（現地手配）をご使用ください。
●現地手配の給水配管に止水排水バルブの取付をおすすめします。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しないときは、給水配管内の水が腐ってしまいます。その水が加湿（暖房）シーズン開始時に加湿器に給水されますと匂いの発生・菌の繁殖の原因になります。加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、止水排水バルブと給水用サービスバルブを開き、配管内を新しい水に置換えてから使用してください。
●使用給水圧力は 0.05 ～ 0.5MPa(ポンプで給水する場合は 0.05 ～ 0.3MPa)・水温は 5 ～ 30℃です。この範囲内でご使用ください。
●使用給水圧力範囲を超える場合は給水系統毎に別の減圧弁(現地手配)を設け、使用範囲内の圧力になるよう調整してください。
●加湿（暖房）シーズン後は、給水用サービスバルブを必ず閉めてください。
●通気に腐食性ガス・塩分・オイルミストを含まないようにしてください。
●シーズンイン時には、Y 型ストレーナの清掃を行ってください。
●現地手配の給水配管にも断熱処理を行ってください（断熱材現地手配）。給水配管内の水が凍結した場合、水の体積膨張により配管や接続部を破壊し、漏水の原因となります。

1. 仕様

形　名		TCB-HS284UW
適合室内ユニット形名	店舗用 AIU-	AP40 ● WH (R)(RJ) AP45 ● WH (R)(RJ)
	マルチ用 MMU-	AP22 ■ WH AP28 ■ WH AP36 ■ WH AP45 ■ WH
電　源		単相 200V　50/60Hz
周囲温湿度		5℃～ 40℃　90% RH 以下

2. 付属部品（次の部品が入っています）

品名	取扱説明書	据付説明書	加湿器本体	給水軟銅管	給水接続部用断熱材	断熱材A	断熱材B	断熱材C	短絡コネクタ
形状					t10×100×100	t3×100×580		t3×80×580	※1
数量	1	1	1	1	2	1	2	1	1

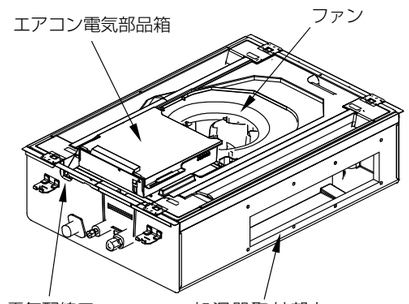
品名	閉端接続子	取付ねじ	ビニタイ	発泡断熱材
形状		φ4×10L	L=200	L=100
数量	2	8	5	2

※1：短絡コネクタは加湿器本体リード線に取り付けてあります。

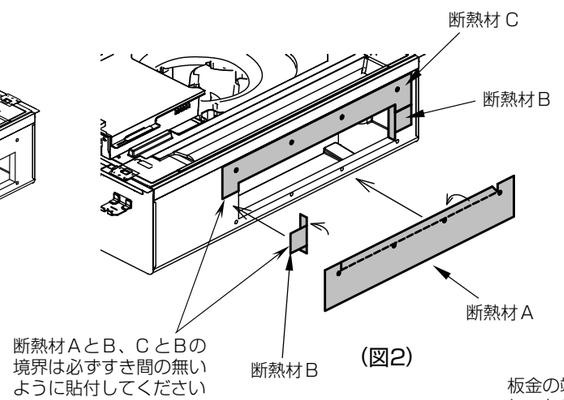
3. 取り付けかた

取付手順　加湿器の組み込みは、必ずエアコン本体を据え付ける前に行ってください。

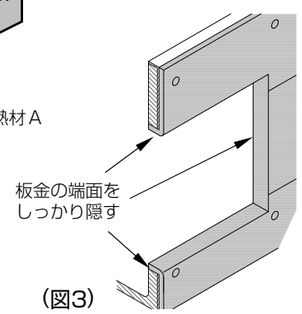
1. 加湿器はエアコン本体側面の一方に取り付けできます。
2. エアコン側面の加湿器取付面ハーフカット部を金鋸・ニッパーなどでていねいに板金を切断し開口してください。さらにエアコン内面の断熱材をよく切れるカッターなどで、板金にそってていねいにカットし、角穴を開口してください。（図 1, 2）内部に熱交換器がありますので注意して作業してください。
3. 角穴開口後、開口部周囲に付属の断熱材 A、B、C を貼付してください。（図 2, 3）



（図1）



（図2）

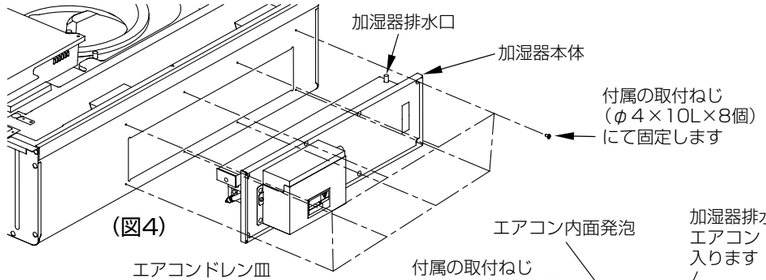


（図3）

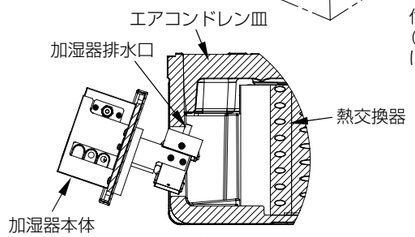
（つづく）

取付手順（つづき）

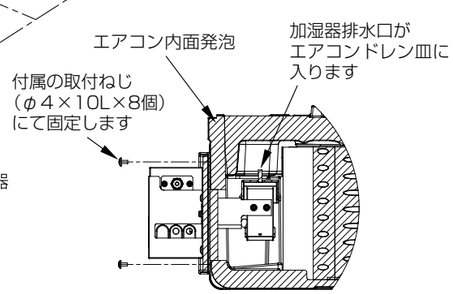
4. 加湿器本体を開口したエアコン側面の角穴に、向きに注意して取り付けます。
   このとき、加湿器排水口がエアコン本体のドレン皿に確実に入っていることを確認してください。（図 4, 5, 6）
5. 付属の取付ねじ（φ4×10L×8個）で加湿器本体を固定してください。（図 6）



（図4）



（図5）



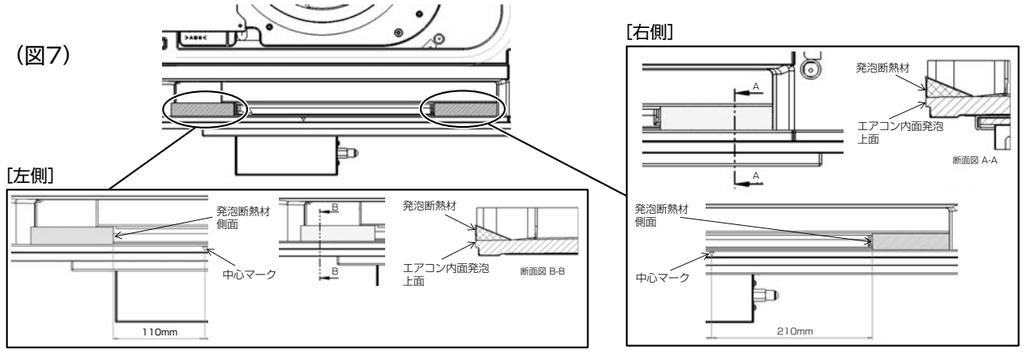
（図6）

6. 加湿器を取り付けた吹出口に発泡断熱材を貼付してください。（図 7）

[右側]
- 発泡断熱材をエアコン内面発泡の上面に合わせ、中心マークより 210mm 右側に貼り付ける。

[左側]
- 発泡断熱材をエアコン内面発泡の上面に合わせ、中心マークより 110mm 左側に貼り付ける。

（図7）



電気配線

1. エアコン本体の電気配線口からエアコン本体内へ配線を引き込みます。（図 8）
2. エアコン電気部品箱の蓋を開き、加湿器電源接続コードを接続します。（図 10）
3. 加湿器接続コネクタ端子をエアコン制御基板の『Hu CN66』2P コネクタに接続します。（図 10）
4. 付属の短絡コネクタをエアコン制御基板の『FILTER CN70』2P コネクタに差し込みます。（図 10）
   (短絡コネクタは加湿器本体リード線に取り付けてあります。)

⚠ 警告

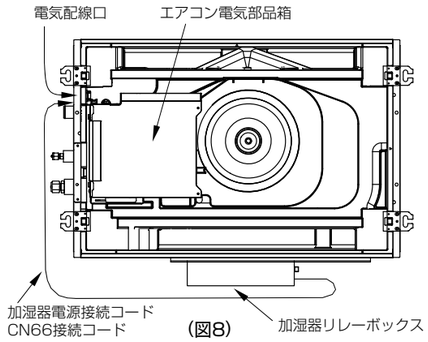
電気配線作業は配線材に傷を付けないように行う
配線材に損傷があると、動作不良や発熱・火災の原因となります。

⚠ 注意

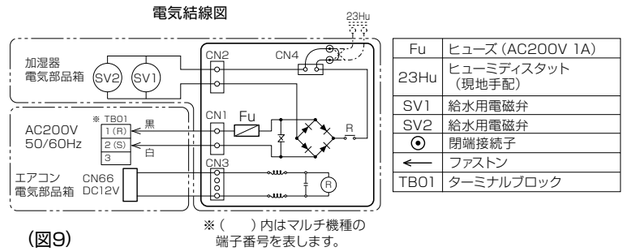
短絡コネクタは必ず差し込む
結線しないと水漏れの原因になります。

お願い
あまった加湿器電源接続コードと CN66 接続コードは配管等に接触しないようにきれいに束ねてください。

5. ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器の電気結線図を参考にエアコン電気部品箱内の加湿器電源接続コード（白）を切断し、付属の閉端接続子にて接続してください。（図 9）
   なお、ヒューミディスタットおよび配線材（0.75 mm ^{2} 以上）は現地手配です。
   接続部は必ずエアコン電気部品箱内に収納してください。
6. 加湿器電源接続コードおよび CN66 接続コードの余った部分は（図 11）のようにビニタイで束ねてください。

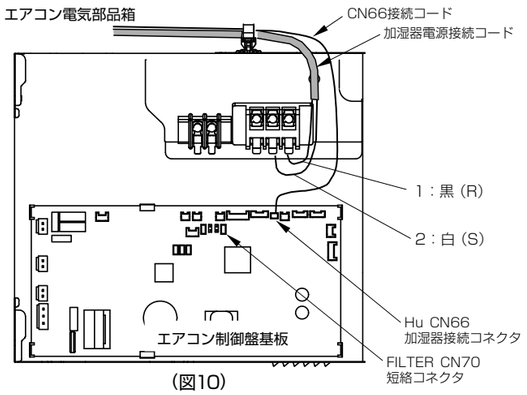


（図8）

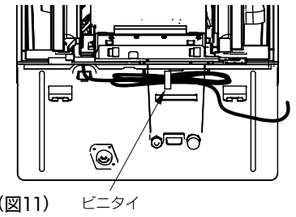


（図9）

お願い
付属の閉端接続子はニチフ CE2 です。
必ず圧着用工具はニチフ NH37 または NH63 を使用してください。



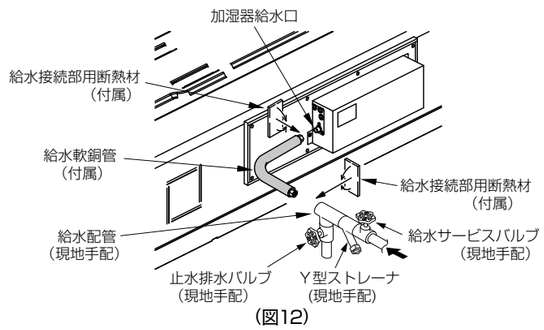
（図10）



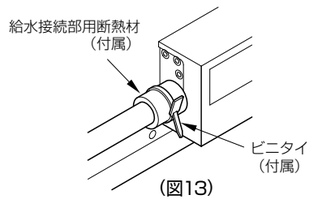
（図11）

給水配管

1. エアコンの据付説明書に従ってエアコン本体を据え付けてください。
2. 現地給水管内の油分・塵埃などを除去するために、配管接続前にバケツなどで水を受けながら、十分なフラッシングを行ってください。
3. 付属の給水軟銅管内にゴミなどが入っていないことを確認し、加湿器本体の給水口に給水軟銅管を接続してください。（ダブルスパナ使用・締付けトルク 15 ～ 20N·m 程度）
4. （図 12）に従って現地手配の給水配管をしてください。
5. 給水接続継手付きの給水軟銅管を現地手配の給水管に接続してください。
6. 接続部の水漏れ確認を行ってください。
7. フレアナット接続部に付属の断熱材を巻きビニタイで固定してください。（2 ヵ所）（図 13）
8. 現地手配給水配管にも、断熱処理を行ってください。（断熱材 現地手配）



（図12）



（図13）

お願い
配管内のフラッシングは必ず行ってください。
フラッシングが不十分ですと、加湿材が濡れなかったり、異臭の原因となる場合があります。

試運転

・電源スイッチを入れてください。
・試運転の前にメインリモコンを操作して、設定を変更してください。

〈節電リモコン（RBC-AMT32SD）使用時〉（図 14）

①「セット」＋「取消」＋「点検」ボタンを同時に 4 秒以上押します。
② このとき項目コードが「１０」と表示されます。
③ 温度設定の「▼」/「▲」ボタンを押して項目コードを「45」にします。
④ タイマー時間の「▼」/「▲」ボタンを押して設定データを「0」に変更します。
⑤「セット」ボタンを押します。このとき、表示が点滅から点灯になります。
⑥「点検」ボタンを押すと「設定中」が点滅します。
⑦「設定中」の表示が消えると操作可能となります。

（図14）

〈省エネ neo リモコン（RBC-AMS53）使用時〉

①『メニュー』を押してメニュー画面を表示させます。（図 15）
② メニュー画面で『∨』と『メニュー』を同時に4秒以上長押しし、現地設定メニュー画面にします。（図 16）
③ 現地設定メニュー画面で『∧』『∨』を押して **10. 詳細データ設定** を選んで **設定**『F2』を押します。
- 『サービス用です。設定変更が必要ですか？』が表示されるので、**はい**『F1』を押します。
- 室内ユニットのファンとフラップが動作します。
  グループ接続を行っている場合は、選択している室内ユニットのファンとフラップが動作します。

④ **<**『F1』を押すと項目コード（DN）が白黒反転表示されるので、『∧』『∨』を押して項目コードを「45」にします。（図 17）
⑤ **>**『F2』を押すとデータが白黒反転されるので、『∧』『∨』を押してデータを『0000』に変更します。（図 18）
⑥『メニュー』を押します。『他のデータ設定を行いますか？』が表示されるので、**いいえ**『F2』を押します。（図 19）
- “設定中”の画面がしばらく表示されたあと、現地設定メニューに戻ります。
- グループ接続時には、**いいえ**『F2』を押すとユニット選択画面が表示されます。
  ユニット選択画面で『とりけし』を押すと“設定中”の画面がしばらく表示されたあと、現地設定メニューに戻ります。

⑦『とりけし』を押して停止画面に戻ります。

（図15）

（図16）

（図17）

（図18）

（図19）

・給水用サービスバルブを開けて通水してください。
・エアコンの運転スイッチを 暖房 にしてください。
・温度設定を希望の温度にします。
・ヒューミディスタットの湿度設定目盛を最大にします。
・運転／停止ボタンを押します。暖房運転と加湿運転を開始します。
・運転を停止するには再び、運転／停止ボタンを押します。
・暖房（加湿）運転開始後、30 分ほど運転し、エアコン吹出口より加湿エレメントの加湿材が一様に濡れていることを確認してください。
・ヒューミディスタットの設定を変化させて、加湿器の ON、OFF が正常であることを確認してください。
・加湿器の運転は圧縮機とインタロックしていますので、圧縮機が停止しているときは加湿器も停止します。

⚠ 注意

エアコン設置後は元電源は入れたままにする
万一、給水用電磁弁がゴミかみなどにより閉じなくなった場合の漏水を防止します。